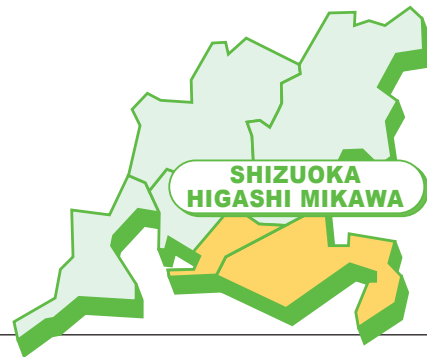


中部 だより



中経連事務局員が、担当するエリアでお聴きた、各県の最新トピックや地域特有の情報を紹介するコーナーです。

広域大連携!「家康街道で地域の魅力をつなげるプロジェクト」

1. 「徳川家康」をきっかけとした地域観光

2023年1月8日より、NHK大河ドラマ第62作『どうする家康』の放送が始まった。徳川家康が主人公となる大河ドラマは40年ぶり3回目となり、室町時代後期から江戸時代を舞台に彼の波乱万丈の生涯を描いている。

徳川家康は1542年に岡崎城(愛知県岡崎市)で生まれ、幼少期は織田氏、今川氏の人質として過ごした後、青年期は戦いに明け暮れるなど、戦乱の直中を生き抜いた。1600年の関ヶ原の戦いで天下を統一、江戸幕府を開いて260年にもおよぶ泰平の世の礎を築いた。

<松平・徳川将軍家の菩提寺・大樹寺>



三門から岡崎城を望む。城までの3kmの区間は市の条例の高さ制限により眺望が守られる(写真提供:岡崎市)。

徳川家康にゆかりのある都道府県および観光関係団体は、大河ドラマの放送を契機として、観光誘客の拡大と周遊観光の促進に取り組んでいる。

愛知県、県内市町、観光関係団体などにおいても、「武将観光」のPRを目的として「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」を設立、観光PRサイトを開設した。また、岡崎市と浜松市では、NHKとタイアップした大河ドラマ館などをオープンさせている。

<協議会のキャラクター「いえやすくん」>



「いえやすくん」がホームページで各種観光情報を紹介。

<岡崎市「大河ドラマ館」[~2024年1月8日(月・祝)]>



<浜松市「大河ドラマ館」[~2024年1月28日(日)]>



2. 観光への利用に向けた課題

全国には、徳川家康ゆかりの史跡や寺社、城郭、逸話などが多数あるものの、自治体単位での情報発信に留まり、地域全体によるコンテンツの造成やつながりの創出、ストーリー性のあるPRができていなかった。

こうした中、愛知県東三河広域観光協議会※は、徳川家や武田家をはじめ、多くの武将が勢力争い

を繰り広げた東三河地域(愛知県豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村)と、その東西に隣接する家康生誕の地「岡崎」、出世の地「浜松」が連携することで、「徳川家康の苦難と躍進の半生」を巡る、ストーリー性のある観光をPRできると考えた。

同協議会からの岡崎市・浜松市に対する呼びかけにより、3つの圏域が連携する組織として、「家康街道で地域の魅力をつなげるプロジェクト推進委員会」が設立された。

3. 「三河・遠州 家康街道」プロジェクト誕生

同委員会は、徳川家康の名の下、県や市町村の垣根を超えて、史跡、寺社、城郭、伝統、逸話、食文化などの魅力をつなげていくプロジェクト「三河・遠州 家康街道」を立ち上げると、看板商品・活動として、「家康街道ガイドマップ」「家康街道デジタルスタンプラリー」「ツアー商品」「メディアを活用したプロモーション」を国の補助金も活用しながら造成・展開した。

<家康街道ガイドマップ>

歴史やグルメなどのテーマに紐づくストーリーを整理した7つの周遊コースを紹介する。10市町村および各観光協会に設置したところ、好評を博し、当初印刷数の4倍となる、約2万部を配布することとなった。

<家康街道デジタルスタンプラリー>

周遊のきっかけづくりとして、「家康街道ガイドマップ」と紐づいたデジタルスタンプラリーが企画された(2023年1月終了)。大河ドラマの制作・放送進行に合わせ、チェックポイントを訪れる観光客が大きく増加した。

<ツアー商品の企画>

複数のモニターツアーの企画・事業検証を経て、家康街道の中間に位置する豊橋から出発し、家康ゆかりの地を巡る以下のツアー商品が2023年5月から展開される。

①	鳳来寺・鳳来山東照宮の特別拝観と岡崎城・ドラマ館の見学
②	鳳来寺・鳳来山東照宮の特別拝観と浜松城・ドラマ館の見学
③	決戦の地で学ぶ! 織田信長・徳川家康連合軍VS武田勝頼
④	東三河に残る知られざる家康公の足跡を辿る!
⑤	岡崎城と家康公が必勝祈願した伊賀八幡宮の参拝

<旅行内容詳細・ツアー申込みについて>

豊橋鉄道(株) 総合企画部 TEL:0532-53-2134 (平日9時~17時)

<https://www.toyotetsu.com/news/000371.html>

※お申込み時は公式HPをご確認ください。

一部、申込を締め切っている場合がございます。



4. 今後の期待

新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和に加え、ジブリパークの開園などにより、訪日観光の候補地として中部圏への注目が増している。「三河・遠州 家康街道」のプロジェクトを機に整理された各地の魅力は、海外旅行客へのPR材料になるとともに、インバウンド需要取り込みによる地方誘客や消費拡大も期待できる。

今後も、「家康街道で地域の魅力をつなげるプロジェクト推進委員会」を通じて、圏域間の連携が一層活発なものとなり、国内外から多くの人を呼び込む魅力づくりが進むことを願ってやまない。

文: 静岡東三河担当 渡邊 俊晴

取材協力: 愛知県東三河広域観光協議会*

*2023年5月11日より、(一社)ほの国東三河観光ビューローに名称変更

家康街道ガイドマップと7つの周遊コース

家康公の**定番!**スポット
戦国を生き抜いた
家康公の軌跡を巡る

家康公の**必勝!**スポット
天下人の願いを叶えた
パワースポットへ

家康公の**青春!**スポット
人質生活から自立し、
東三河や遠州へ進出

家康公の**美食!**スポット
今の世で味わいたい、
家康公のグルメとみやげ

家康公の**悲哀!**スポット
悲運に見舞われつつ、
武家社会を生きる

家康公の**謎解!**スポット
激戦の一向一揆を中心に
三代危機を知る

家康公の**拍棒!**スポット
人の心を掴む力と、
信頼で味方につける

